



ADRC

Highlights

Vol.136

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 April 2006

▶ 「アジア防災会議 2006」が韓国・ソウルで開催、25 カ国 146 名の防災関係者が参加

2006年3月15-17日、韓国・ソウルにて、『アジア防災会議(ACDR)2006～「兵庫行動枠組 2005-2015」戦略的目標の実現に向けて～』が開催され、日本・韓国などアジア地域を中心に合計 25 カ国および国連機関・国際機関他から、関係者 146 名が一堂に会しました。この会議は、国連国際防災戦略(UN/ISDR)事務局、日本政府(内閣府)、韓国政府、アジア防災センター(ADRC)、世界気象機関(WMO)、国連人道問題調整部(UN/OCHA)、国連開発計画(UNDP)の主催によって開かれたものでした。



アジア防災会議 2006 の参加者

□ 議論を通じて各国の課題が次々と浮き彫りに

本会議の目的は、アジア地域における災害の被害軽減のための取組の成果と課題を総括するとともに、2005年1月に兵庫県神戸市で開催された「国連防災世界会議」において採択された「兵庫行動枠組(Hyogo Framework for Action)2005-2015: 災害に強い国・コミュニティの構築」についてアジア各国の実施状況報告や推進のためのツール等について議論することでした。



開会式での嘉数内閣府副大臣

会議初日の15日は、韓国消防防災庁(NEMA)ムン庁長の開会挨拶で始まり、続いて日本の嘉数(かかず)内閣府副大臣、WMOのジャロー事務局長(クートバル公共天気サービス課長による代読)の祝辞がありました。その後、2つの基調講演が、UN/ISDRのプリセーニョ事務局長ならびに当センター(ADRC)所長の北本により行われ、後者の発表では、「兵庫行動枠組」の5つの優先すべき行動それぞれにおいて、例えばタイでの防災教育プロジェクトやIRP発足などADRCが具体的な形でアジア各国の支援を展開していることについて述べました。

また午後からは、参加したADRCメンバー23カ国が5つのグループに分かれ、それぞれの国が現在防災面でどのような課題を抱え、「兵庫行動枠組」をどのように推進しているか、などについて報告し、活発な討議を交わしました。こうした議論を通じて、各国の課題

が次々と浮き彫りになりました。例えば「コミュニティ・レベルの早期警戒システムは、伝統的な手法でも良いので、住民にとって分かりやすいことが必要である」や「国の開発計画にもっと防災の視点を取り入れるべきである」、「NGOの活用をはじめ多くの民間企業や一般住民を巻き込んで建築物の耐震化等の防災政策をいかに図っていくか」など課題が挙げられました。

□ 「兵庫行動枠組」のより一層の推進に向けて

同会議での公開フォーラム、プレゼンテーションおよび討議により、国レベル、地域レベルにおける「兵庫行動枠組」の実施に着実な進捗が確認されました。

その一方で、災害により強い国・コミュニティを作るという目標を確実に実現するにはまだ多くの課題が残っており、次に掲げる取組み・活動が重要であると、最終日に会議サマリーとして取りまとめられました。



2日目の公開フォーラムの様子

- (1) 「兵庫行動枠組」にある優先すべき行動の実施に対する支援
- (2) 「兵庫行動枠組」の実施に向けた戦略的国別行動計画(SNAP, Strategic National Action Plan)の策定
- (3) 次の4つの活動を通じた、総合的かつ包括的な災害リスク軽減の推進
 - (a) 開発政策への災害リスク軽減の取入れ、多分野間協力の促進
 - (b) 全ての災害局面への災害リスク軽減の組込
 - (c) 早期警戒システムの強化と効果的な災害情報の共有
 - (d) 各国共通の課題(女性・コミュニティ・NGOの参画など)

会議サマリーは、韓国NEMAバン災害復興支援本部長により読上げられ、「アジア防災会議 2006」は成功裡のうちに終了しました。同会議の開催にあたりまして、NEMAをはじめとする韓国政府のご尽力・ご協力に対し厚くお礼を申し上げます。同会議の成功を受けて韓国では、同国における防災政策の一層の推進が期待されていますが、アジア防災センターとしましても、今後とも「兵庫行動枠組」の推進、ひいてはアジア地域での災害による被害の軽減へ向けて、一層まい進していく所存です。

なお、同会議の様子は、3月15日以降、NHKのニュースにて繰り返し放映されました。また、会議サマリーについては、当センターホームページにて近日中に掲載される予定です。当会議についての詳細は、研究員の児玉(kodama@adrc.or.jp)までお願いします。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)

Hitomiraikan 5F, 1-5-2 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone:+81-78-262-5540